

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-061

補助事業名 平成26年度 国内スポーツ競技力向上のための事業補助事業

補助事業者名 公益財団法人 日本体育協会

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

本会は定款において、国民体育大会の開催やスポーツ少年団の育成に努めるほか、各種国民スポーツ振興事業を推進していく役割を担っており、主要事業をさらに効果的に展開して、生涯スポーツ社会の実現に向けた体制の構築を図り、もって公益の増進に寄与する。

#### (2) 実施内容

##### ア. 国民体育大会実施事業

全国9ブロックで実施した国民大会ブロック大会に対し、開催費の一部を助成した(参加者42,575名)。



国民体育大会ブロック大会  
競技会場の表示



国民体育大会ブロック大会  
競技の様子

##### イ. ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防プログラム開発事業

ジュニア期のスポーツで発生件数が多い外傷・障害に対して、前年度(研究第1年次)に作成した予防プログラムを用いて介入指導を実施した。研究対象としている5競技のうち、サッカー、柔道、バスケットボールの3競技については、その効果を検証の上、エビデンスに基づく予防プログラムを確立した。ラグビーとテニスの2競技は、引き続き効果検証を行う。

#### 1) 作業・研究内容：

- ・重点競技種目での障害調査、障害予防トレーニングの介入、効果検証等

#### 2) 実施期間：

- ・平成26年4月～平成27年3月



プロジェクト会議の様子



外傷予防プログラム 測定風景

## 2. 予想される事業実施効果

### ア. 国民体育大会実施事業

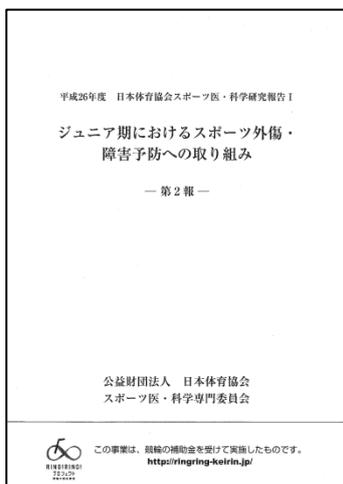
国民体育大会ブロック大会を通じて、競技の水準を高めるとともに、少年から成人にいたる幅広い年齢層の競技者に対して、日々のスポーツ活動の成果を発揮する機会を提供できた。

### イ. ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防プログラム開発事業

前年度（研究第1年次）に作成した予防プログラム当初計画に基づき、各競技種目における障害調査や障害予防プログラムの作成を行い、効果検証のための介入指導を実施した。最終年次での全てのプログラムの確立を経て、本会関係団体を通じてスポーツ指導の現場への普及啓発を図ることにより、学校体育における安全性の向上や、トップアスリートのための医科学的支援にもつながることが期待される。

## 3. 本事業により作成した印刷物

### イ. ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防プログラム開発事業 研究報告書 - 第2報 - 600部



ジュニア期におけるスポーツ外傷・障害予防への取り組み  
研究報告書-第2報-

#### 4. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 公益財団法人 日本体育協会

住所： 150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1

代表者名： 会長 張 富士夫(チョウ フジオ)

担当部署： 財務部財務会計課(ザイムブザイムカイケイカ)

担当者名： 関谷 卓也(セキヤ タクヤ)

電話番号： 03-3481-2207

F A X： 03-3481-2284

E-mail： [sekiya-t@japan-sports.or.jp](mailto:sekiya-t@japan-sports.or.jp)

U R L： <http://www.japan-sports.or.jp/>